# 故・中根秀之先生を偲んで

日本精神保険・予防学会 理事長
富山大学学術研究部医学系 神経精神医学講座 教授
鈴 木 道 雄

本学会の理事であり、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻教授であった中根秀之先生は、2020年3月2日に56歳という若さでご逝去されました。追悼文を本誌に寄稿する機会をいただきましたので、筆者のできる範囲で、先生の足跡を振り返りつつ、生前のお姿を偲びたいと思います。

まず、中根先生のご経歴を、長崎大学研究者総覧データベースに公開されている情報に基づいてご紹介します。中根先生は1988年3月に香川医科大学医学部を卒業され、1989年九州大学医学部附属病院精神科神経科の医員（研修医）となられました。1995年には九州大学大学院医学研究科内科系専攻博士課程を修了されています。同年4月から九州大学医学部附属病院（精神科神経科）の助手、同年6月からは宮崎医科大学医学部（精神科）の助手、1998年から佐賀医科大学医学部（精神医学講座）の助手、2002年からは長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻の講師を勤められ、2009年6月に同教授にご就任なさいました。その間に、飯塚記念病院、九州厚生年金病院、国立肥前療養所にもご勤務になり、2007年には世界保健機関（WHO）のDepartment of Mental Health and Substance Dependence/ Management of Mental and Brain Disordersの客員教授を務められました。

中根先生は、特に疫学的精神医学の分野における研究に大きなご功績を挙げられました。門外漢の筆者が論評できる立場ではありませんが、WHOによるWorld Mental Health Surveyの日本における調査に参画され、我が国の精神疾患や精神医療のさまざまな特徴を明らかにされた多くの論文や、オーストラリアとの共同研究による精神疾患へのスティグマの日豪比較の論文など、国際比較あるいは多文化間比較の視点に立った優れたご業績は、中根先生のご研究を特徴付けるものと思われます。学会活動では、本学会が研究会から学会となった2009年から継続して理事を務められた他に、GID（性同一性障害）学会理事、日本統合失調症学会評議員を務められ、その他の多くの学会においても活躍されました。

中根先生が、長崎大学教授として精励なさっている最中の、まさにこれからという時に早逝なさいましたことは、我が国の精神医学界にとって誠に大きな損失であると言わざるを得ません。先生と筆者の個人的なお付き合いはさほど深いと言えるものではありませんでしたが、お会いした時にはいつも優しい微笑みを湛えられた先生の表情と、お願い事をしてもお断りになるということのない懐の深さが心に残っています。先生が大病を患われていることを仄聞し、陰ながらご快癒を祈っていました

が、お会いできないままとなってしまいましたことを本当に残念に思います。

最後に、先生から本学会へ賜りました長年にわたる多大なご貢献に深く感謝しつつ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。